

4 県民が文化に親しむ機会の充実

(1) 県立図書館

ア 運営方針

宮崎県立図書館は、社会教育を担う中核施設としての使命を踏まえ、人づくりと地域づくりに役に立つ図書館をめざして、6つの目標を掲げている。

そして、目標の具現化に向けて、市町村立図書館（室）や関係機関団体等と連携を図り、県内図書館のフロントランナーとして、図書館の機能と資源を活用しながら積極的に事業の展開を図っていく方針である。

【目標】

- (1) 県の情報拠点としての図書館
- (2) 図書館のための図書館
- (3) 豊かな暮らしに役立つ図書館
- (4) 県民や地域の課題解決を支援する図書館
- (5) 郷土の文化を大切にする図書館
- (6) 進化する図書館

イ 平成23年度重点推進事項

○ 多様な学習機会の提供

県民の自主的な学習を支援するため、関係機関と連携して、健康や環境等に関する資料・情報の提供などを行うほか、文化講座など各世代のニーズに沿った各種講座や展示等を実施し、多様な学習機会の積極的な提供を行う。

○ 県民や地域の課題解決支援の強化

県民や地域の課題解決を積極的に支援するため、図書館の持つ機能と資源を有効に活用し、県行政機関等へのレファレンスサービスや県政の重点施策発信事業等の政策支援を行うほか、大学、民間企業など関係機関と連携したビジネス支援サービスなどの社会人支援を行う。また、就労支援や子育て支援など喫緊の課題解決に役立つ資料の充実・活用を図る。

○ 市町村立図書館（室）及び学校等との連携・支援の強化

県立図書館と市町村立図書館（室）相互の連携を強化するとともに、特に中山間地域における図書館サービスの向上を図るために、市町村立図書館（室）が行う読み聞かせ団体の育成や、市町村立図書館（室）の職員研修支援を積極的に行う。また、へき地学校における読書活動の推進を図るために、移動図書館車「やまびこ」の巡回先の拡充を図る。

○ 郷土に関する情報収集・提供の強化

『宮崎の“昔と今”を学ぶ』をテーマとして、市町村立図書館等と役割分担をしながら、郷土資料の積極的な収集・整理・保存に努めていく。

また、関係機関と連携した郷土情報の発信事業、貴重資料等のデジタル化推進及びデジタルアーカイブの充実などを通じて、地域の情報拠点としての役割を強化する。

(2) 県立美術館

ア 運営方針

優れた美術品を鑑賞する機会と創作・発表及び学習の場の提供など美術の振興を図り、心豊かな県民生活の創造に寄与するため、各種事業を積極的に推進し、県民に親しまれる開かれた美術館を目指す。

イ 平成23年度重点推進事項

○ 展示事業

国内外の高水準の芸術作品を鑑賞する機会としての特別展の開催や調査・研究成果を基本に優れた収蔵作品を年間を通じて紹介するコレクション展、そして県美術展の開催等により県民に優れた作品の鑑賞機会や発表の場を計画的に提供し本県美術の中核施設としての役割を果たしていく。

○ 教育普及事業

県民一般や子ども達の美術に対する興味・関心を高め、技術の向上や創作意欲を喚起するために講座やワークショップを実施したり、地理的条件等により美術館を訪れる機会の少ない人達のために移動ハイビジョン等を実施したりすることにより本県美術水準の向上に努め、教育機関としての役割を果たしていく。

○ 資料整備事業

体系的、計画的な資料の収集を図る。

○ 管理・運営事業

財政が厳しい中、経費削減に努めるとともに、各事業の効率的な運営管理を進めながら、実行委員会方式による特別展の無休化、サポーターとの協働及びコレクション展の無料化等により、一層の県民サービスの向上を図る。